

### 第3回 福井市水道事業ビジョン策定委員会 議事録

日時	令和6年10月29日(火) 15:00~16:00
場所	上下水道局庁舎 301会議室
出席者	<p>&lt; 委員 &gt; 南保委員長、高島委員、田村委員、前川委員、吉川委員</p> <p>&lt; 上下水道局 &gt; 坂下経営部長、南京事業部長、朝倉経営次長、内田事業次長 経営管理課(箕手課長 塚本副課長 辻課長補佐 伊藤主幹 中川主幹 野阪副主幹) 上下水道サービス課(塚本課長) 水道管路課(山本課長、赤田主幹、上出副主幹) 水道施設課(細川課長)</p>
会議録	
1 議題1 ビジョン中間見直し版の素案 ~ 事務局より説明後、以下質疑応答 ~	
委員	「財政計画の基本方針」(資料2 P36~P37)において、「令和10年度に純損失が発生する見込みである」ことを記載した方がよい。
委員	また、「建設改良費と留保資金残高の推移」(資料2 P38)において、「ビジョンの計画期間中は安定的な経営運営の水準を維持できる見込み」とあるが、続けて「今後は厳しい財政状況になる」とあるため、「計画期間中は安定的な経営を維持できる」という記載は不要では。
委員	今回はビジョンの中間見直しであることに鑑み、私は、その後の財政状況は厳しくなるという説明と併せて、計画期間中の財政状況についての記載を残してもよいのではないかと感じた。
事務局	計画期間が令和10年度までであるにも関わらず、財源試算(資料2 P36~P37)や「建設改良費と留保資金残高の推移」(資料2 P38)において、令和11年度まで掲載している理由は。
事務局	ビジョンの計画期間以降も大型投資が続く見込みであり、それに伴って計画期間以後も財政状況は厳しくなる見込みであることを、ビジョン見直し版において市民に示していく必要があるだろうとの考えから、令和11年度の試算についても掲載することとした。
委員	令和11年度以降の投資や財政状況については掲載しないのか。
事務局	令和11年度以降は不透明な部分も多く、また、現時点の試算よりも変更となる可能性が高いため、令和11年度までの記載とした。
委員	財源試算(資料2 P36~P37)について、令和11年度も令和10

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>年度以前と同じ「計画」という表記があるが、現行ビジョンの計画期間と混同する可能性がある。令和 11 年度については「見込み」といった表現に変更するとよい。</p> <p>「財政計画」から「まとめ」(資料 2 P36～P39)までの表現方法については今一度、事務局で検討していただき、改めて相談していただければと思う。私共でもよい表現方法があれば事務局へ提案する。</p> <p>承知した。事務局から後日、訂正案について相談させていただく。</p> <p>料金水準の検討が必要となる時期についてだが、現行ビジョンでは「計画期間の中頃まで」としていたが、見直し版では「計画期間の終期まで」に延伸となったが、その理由は。</p> <p>投資計画(資料 2 P34～P35)にもあるとおり、原目配水池や九頭竜浄水施設の更新といった大型投資の実施時期が、ビジョン策定時よりも後ろ倒しになったためである。</p> <p>料金水準の検討が必要となる時期が後ろ倒しになったことは重要なことなので、大型投資が後ろ倒しとなった理由も含めて、見直し版の中で記載しておくとうよい。</p> <p>また、料金水準の検討が必要となる時期の後ろ倒しについては、大型投資の後ろ倒しだけでなく、上下水道局としてこれまで実施してきた経営努力も一因であるかと思うので、そうした経営努力といった実績の部分についても見直し版の中で記載しておくとうよい。</p> <p>国が推進する民間活力の導入や社会情勢を踏まえた結果、事業を延伸しているといった背景などについてもビジョンに記載する方向で進めていきたい。</p>
<p>2 議題 2 パブリック・コメントの実施</p> <p>～事務局より説明後、質疑応答～ 質疑なし</p>	
<p>3 その他</p>	
<p>事務局</p>	<p>第 4 回委員会案内... 来年 1 月下旬頃 301 会議室にて開催</p>